

これから社会に出る 若者たちよ、大志を抱け!

“働くこと”での困ったを 打開するためのポイント



(監修：連合非正規労働センター)



学生たちの就職活動が本格的に始まっています。

学校卒業後に初めて就く仕事「非正規」である若者の割合は、年々増加し、今や約4割近くに及んでいます。多くの若者が不本意に「非正規」となり、技能や能力を高める機会を得られないまま、不安定雇用が続き、将来設計を描けずいます。またせっかく就職したのにミスマッチにより早期に離職してしまう問題も…。

無限の可能性を秘めた若者が、将来に夢と希望が持てるよう、連合は若者一人ひとりを大切に、その成長を支え、安心して働き続けられる環境をつくるため、若年者雇用対策を掲げて取り組んでいます。本コーナーではその対策のポイントを見ていきます。

学生時代

楽しい7人の仲間たち

将来に夢や希望を持って!

Point 1-0

職場

Point 3-0 労働契約内容の齟齬

Point 3-2 長時間労働

Point 2-0 雇用のミスマッチ

Point 3-0 ハラスメント

Point 1-0 家庭の経済格差が教育格差に

Point 3-0 不安定雇用

Point 1-2 セクハラが...

Point 4 地域での働く場がない

Point 2 地域での働く場がない

Point 4

イラスト中の Point 1-0 マークは右の欄の同じ番号の解説を見てね

就職活動

若者を取り巻く厳しい現状...

卒業後、初めて就いた仕事が非正規雇用だった人の割合

年・月	割合 (%)
01.10~02.09	15
02.10~03.09	18
03.10~04.09	22
04.10~05.09	28
05.10~06.09	35
06.10~07.09	39.8

約4割が非正規雇用

Point 2

Point 4

※通学の傍らにしたアルバイトは含まれない。総務省「就業構造基本調査」2012

連合の若年者雇用対策のポイント

(連合「若年者雇用対策に関する当面の対応について」より)

Point 1 働く力をつけよう!

- 1 社会に出る前に、「働く意義」「労働法」「働く人の権利・義務」「税や社会保険の仕組み」などを学ぶことが大切です。小中高～大学におけるワークルール教育
- 2 非正規で働く若者たちに“正規雇用への道”を開くためにも「職業訓練」の拡充を
- 3 家庭での経済格差が教育格差につながらないように高校の無償化を奨学金の返済が就職後に過重な負担とならないよう給付型奨学金制度の拡充などを

Point 2 働く場とむすぼう!

- 1 ミスマッチによる早期離職を防ぐため、求職者が求める情報の開示を
- 2 インターネットも含めた就職活動における情報提供では一定のルール化を
- 3 学校による就職支援機能の強化を

Point 3 働き続けられるように!

- 1 求人時や採用時の労働条件と実際の労働条件が大きく異なるトラブルなどの相談が多数寄せられています。基本給に残業代が予め含まれている固定残業代などを明示し、トラブル防止を
- 2 慢性的な長時間労働やハラスメントなどにより若者を使い捨てにすることがないように、働き続けられる職場に向けて、労使の取り組みを

Point 4 働く場をつくる!

- 1 地域の特性を生かした雇用の増大を
- 2 地域の雇用創出、地域再生に向けて、Iターン、Uターン等の促進による人材育成・確保、起業促進、企業誘致等を